

---

## 編集後記

---

『国立女性教育会館研究ジャーナル』第12号をお届けします。今号から、当ジャーナルの刊行時期が3月になりました。本誌が特色としている公募原稿について、投稿から決定までの期間をできるだけ短縮するために、編集委員会として知恵をしばった結果です。この刊行時期の変更のため、今号にかぎって編集の期間は半年間に短縮されました。たしかに多忙をきわめましたが、ご覧いただけるような充実した内容をお届けすることができ、嬉しいかぎりです。

NWECは、昨年、開館30周年を迎えました。これを記念して行われたいくつかの事業について、本号は掲載しています。今年度は、これまでの蓄積をベースにして新たな一歩をきざむことになる「女性アーカイブセンター」が、NWECに開設されます。歴史資料を体系的に収集・整理・保存・活用するナショナルセンターとして、また各機関が所蔵している資料を結ぶネットワークの核として、NWECに対する期待はますますふくらむことでしょう。そこで本号では、「女性アーカイブズ」特集を組み、専門家による内外のアーカイブズ研究論文を掲載しました。また、30周年記念事業として行われた「女性アーカイブ開設先行展示」に関する論文・資料解題も掲載しています。情報アーカイブズにとって必要なのは、情報拠点としての機能であり、女性史・ジェンダー史の研究情報に精通した専門的スタッフだという指摘は、今後とも重要な視点だと思います。

同じく30周年記念事業として行われた国際シンポジウム「時代を拓くアジアの女性リーダー」も掲載しました。ここでは、自分の得意なものを活かす努力、専門性をもつことの大切さ、よいロールモデルの存在、社会的な法整備の必要性など、女性リーダーのエンパワーメントの条件がたくさん語られています。

本号への投稿原稿は計16本（論文7本、実践事例研究6本、研究ノート3本）でした。各3人のレフェリーによる査読を経て、厳正に審査した結果、論文1本、実践事例研究1本を掲載することになりました。ジャーナル委員、協力委員、専門査読委員、その他の専門家が一致協力して審査を行い、査読を経ることによって質の高い論文を掲載することができました。投稿者、査読者、それぞれの方に心よりお礼を申し上げます。

昨年末には、NWECも独立行政法人の整理合理化の対象となりましたが、単独の法人としての存続を要望する国民の声は、大きな広がりを見せました。NWECの活動の意義を認識して下さっている方々の多さが実感できた嬉しいできごとでした。今後とも、ジェンダーの視点にたった国際的・学際的研究、男女共同参画に関する実践的研究に寄与する当研究ジャーナルに、ご協力・ご支援をいただけますように、よろしくお願いいたします。

研究ジャーナル編集委員長 浅倉むつ子